【須磨ユニバーサルビーチプロジェクト 2020報告書】2021.6.22

※須磨ユニバーサルビーチプロジェクトは須磨UBPと記載

須磨UBP公式HP↓

●ビーチマット導入４年目

昨年夏はコロナの影響で本拠地である須磨海水浴場も閉鎖し、須磨の海で活動できませんでした。海水浴だけでなく、2年続いていた須磨ユニバーサルビーチベース（障がい者が無料で利用できるトイレ・シャワー・更衣施設）も開設しませんでした。

今年2021年は、海水浴場は開設されませんが、近隣、地元住民のためにビーチマットの設置・利便施設は開設予定です。

〇須磨UBP公式HP↓
https://sumauniversalbeach.com/

●長田区に事務所兼倉庫を設置

2020年に新たな拠点となる事務所兼倉庫を借りました。
本拠地となる須磨海岸と、人の集まりやすい三宮の間に位置し、
また様々な活動を行うプレーヤーが多く、ここ最近は特に活気のある街・長田を選びました。家賃もリーズナブルです。
⇒2020年4月から借りましたが、コロナの影響でなかなか通えませんでしたが、秋にはみんなでペンキを塗るなど少しずつ環境を整えています。

今後、須磨UBPの拠点としてさらに稼働させる予定です。

長田区の事務所兼・倉庫↓

●2020年中止になったイベント

・田植え（5月）＆稲刈り（9月）イベント/牧場あそび（5月）
・地引網（5月）/須磨海水浴場（7月～8月）
・出張ビーチマット@大阪ぴちぴちビーチ（8月）
・出張ビーチマット@南知多（8月）※次ページに詳細載せています

●2020年実施したイベント

・開催の方針

オンラインでの実施が可能か、現地視察を行い感染対策が可能な環境でできる限り開催に向け準備を進めましたが、自粛警察の問題などもあり「実害より風評被害」と考え、春～初夏（緊急事態宣言の期間）にかけてはほぼ全ての活動・イベントを中止にしました。

※風評被害のリスク回避もあり、イベントの募集対象は原則既存のコミュニティにしぼり、ご新規・一見さんは避けました。

●全国一斉ビーチクリーン開催

～ソーシャルディスタンスが、全国のビーチをつなげてくれた。～

8月29日、コロナの感染状況が落ち着いたタイミングで、
『全国のビーチでビーチクリーン同時開催』というタイトルで開催。
逆転の発想でソーシャルディスタンスがあったからこそ実現したという想いを込めて開催しました。
⇒新たなつながりもでき、今後のユニバーサルビーチの普及の足掛かりとしてのコミュニティづくりに寄与しました。

淡路島・岩屋ビーチ↓

●1万ピースプロジェクト（ビーチクリーン）

1m四方の範囲のマイクロプラスチックを拾うビーチクリーンプロジェクト。
全国一斉ビーチクリーンでつながった由比ガ浜発祥のプロジェクトに参画し、須磨ビーチで開催しました。

●ユニバーサルビーチ@淡路島・岩屋ビーチ　開催

初の淡路島でのユニバーサルビーチ。参加者をしぼり、スタッフ＋須磨UBPコミュニティ内のメンバーにしぼって試験的開催。

←神戸市立自然の家↓

●ユニバーサルキャンプ@神戸市立自然の家　開催

初の宿泊を伴うイベント。事前に視察、少人数での宿泊リハも行い、
神戸市立自然の家の協力の元実現しました。
開催の9月は感染状況も多少好転していたタイミングでもあり、実施を決断しました。
・テントキャンプ　・飯盒炊爨　・燻製いろいろ　・カヌー
・キャンプファイヤ　・ザリガニ釣り　・屋外映画観賞会　など

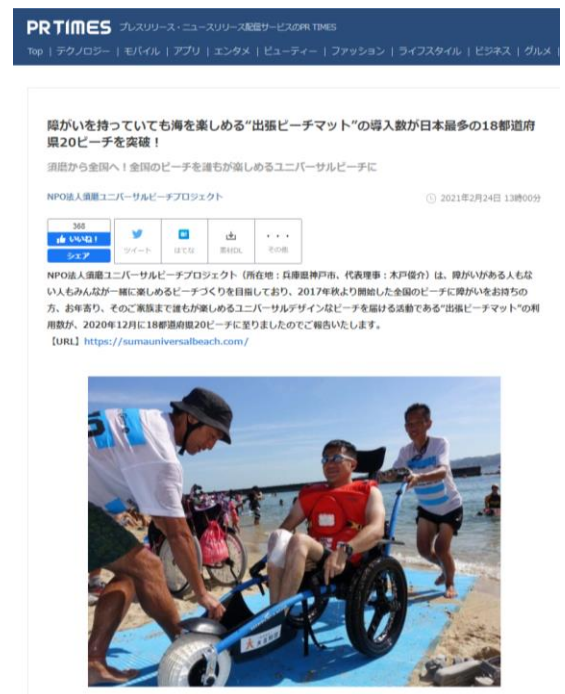
【須磨ユニバーサルビーチプロジェクト 2020報告書】2020.6.22

※その他・夏シーズン以外、ビーチ以外の取り組み※

●出張ビーチマット「須磨から全国へ」

全国のビーチへビーチマットやヒッポを貸し出し、ビーチマットの普及や全国のユニバーサルビーチ化を目指し、出張ビーチマットを継続的に展開しています。
・大阪脇浜戎大社（1月）
・南知多UBP（6月）
・徳島BlueFes（8月）
・北海道余市高校（9月）
・淡路島・岩屋ビーチ（9月）※意外にも「関西で初」の出張ビーチマット!!
・山形チューリップ畑（12月）
・高知県夜須（12月）

※コロナの感染リスクを避けるため最少人数orビーチマットのみの貸し出しで実施しました



●その他

ビーチの活動だけではなく、色んな企画を実施しています!!
・飲食店を応援するテイクアウト企画
・七夕に笹の葉をデリバリする企画
・GPSプロギングラン
・オンラインでクイズをつくろう！

●来夏に向けての候補地）

・奄美大島
・沖縄
・琵琶湖

●観光庁の先進事例として紹介

観光庁発行の「持続可能な観光の実現に向けた先進事例集2020年度」に掲載、先進事例として紹介されました。
ビーチマット等の整備により車いすのまま楽しめるビーチづくり（＃34）
https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001395438.pdf

#34 受入環境整備・誘客多角化

ビーチマット等の整備により車いすのまま楽しめるビーチづくり（兵庫県神戸市・須磨海岸等）

【経緯】
須磨海岸は関西でも有数の人気のビーチであったが、須磨海岸をはじめとする元来のビーチでは、「車いすでは海を楽しめない」ということから、2017年、須磨を車いすの方とそのご家族が一緒に海を楽しめるユニバーサルビーチにすることを目標として雄志の仲間が立ち上がった。
通常、車いすで砂浜を通ろうとすると車輪が砂にはまってしまい、車いすの方は、せっかく海に来たのに遠くから眺めることしかできない。こういった課題をクリアするため、オーストラリア等のビーチに敷かれた1本のマットに着目。このマットが1本あるだけで、車いすの方でも健常者と同じようにこれまで近づけなかった砂浜を進むことができ、家族と海を楽しむことができる。そこで、須磨のビーチに、マットを導入することとしたが、このマットを日本で導入している海岸はまだなく、製造・販売しているメーカーもなかった。
そのため、自分たちで身の回りのモノを利用しビーチマットを作ろうと考え、代用品のアイデアを募り、実際に可能かどうか検証したが安全面に不安が残る結果となった。安全面については妥協ができないことから、ビーチマットを製造しているアメリカから輸入することに決定。
しかし、海外からマットを購入するために必要な金額は130万円と高額ではあったものの、どうしても海を諦めている方の力になりたいとクラウドファンディングに挑戦。結果、167人から159万円の支援が集まったことから、2017年にビーチマットを日本で初めて須磨に導入することができた。
すると、車いすの方も介護者や家族の方と一緒に砂浜を通り波打ち際まで行くことができるようになり、遠くから眺めることしかできなかった海を、誰もが・みんなで楽しむことができるようになった。
加えて、マットで波打ち際までいけるようになると、海に入りたくなる。そういった要望に応えるために、水陸両用車イスであるヒッポキャンプも導入することに。
このほか須磨海岸では、身障者用駐車スペース や多目的トイレ、バリアフリーシャワー等も整備し、総合的に、障害者も健常者も一緒に同じことを楽しめるビーチづくりを行っている。
【成果】
「海では一緒に遊べない」と諦めていた車いすの方がいる家族やベビーカーの子供連れ、高齢者の訪問が増加。
また、ビーチマットは設置・撤去に人手がかかるというデメリットにしか見えないことがメリットに。反対に、このおかげで一夏に100人を超える市民ボランティアの方が集まった。こうして、「市民のみんなでユニバーサルビーチをつくっていく」ことができる風土が醸成された。
【同様の取組】
愛知県南知多町の海岸等でもビーチマットが導入されている。

ビーチマット上を移動する利用者　ヒッポキャンプにより海水浴を楽しむ利用者

【参考URL】
須磨ユニバーサルビーチプロジェクト
https://sumauniversalbeach.com/

＜メディアでの露出＞2020年

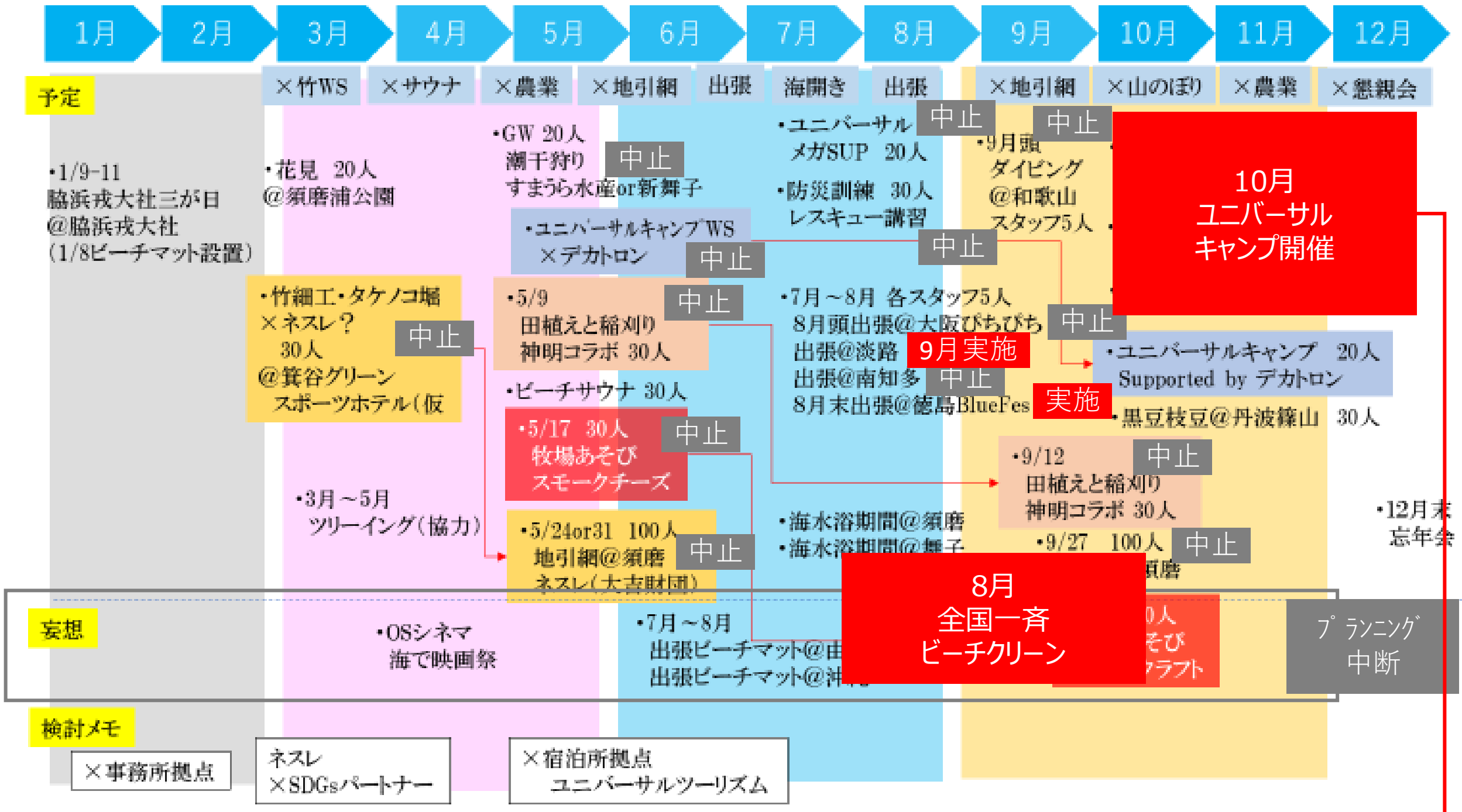
8/29　全国一斉ビーチクリーン
・読売テレビ に放送していただきました
https://www.ytv.co.jp/press/kansai/70780.html

・神戸新聞デジタル にご掲載していただきました
https://maidonanews.jp/article/13679440

・房日新聞 にご掲載いただきました
・徳島新聞 にご掲載いただきました
・伊豆新聞デジタル にご掲載いただきました
https://digital.izu-np.co.jp/news/society/19392

2021/3/31　GPS　プロギング
https://www.kobe-np.co.jp/news/kobe/202103/p2_0014115749.shtml

須磨ユニバーサルビーチプロジェクト2020年間の活動



【2021年実施したイベント】
・ユニバーサルキャンプin岩屋（9月）
・ユニバーサルキャンプ（10月）←※9月試験
⇒来年はオンラインを組み合わせたイベント、
取組を企画・実施していく予定

2020年は基本的にイベントはコロナの影響で中止に。
※コロナの感染状況を見ながら、暖かい期間に屋外企画にて
実施可否判断をしました

●今後の展開（活動開始時に立てた中長期的な活動プラン）
2017年夏から2020年夏までのシーズンごとにプロジェクトを展開します。

【2017年夏】　1stステージ “車いすで須磨ビーチを楽しむ”
・5月28日のビーチフェスタにて発表 済
・キュレーションサイトを設置、情報発信 済
・ビーチマットを導入し車いすでもビーチを楽しむための環境整備 済
・海の家への啓発活動。ハード面ではなくソフト面で取り組みを広めていく。 済

【2018年夏～2019年夏】　2ndステージ “車いすで須磨ビーチ周辺を楽しむ”
・駅周辺、駐車場からビーチへの動線整備（細かい段差、凸凹の道を改善）
・車いす動線のマップ（案内板）の制作、掲出 済
・ユニバーサルデザインビーチとしてPR,プロモーション活動（情報発信） 済
・”須磨から全国へ”を合言葉に「出張ビーチマット」を継続し全国のビーチをユニバーサルビーチにする。（2018年8月追記） 済

2019年も継続してユニバーサルビーチの
実現のため積極的に活動していきます

【2020年夏】　3rdステージ ”車いすで電車に乗って須磨ビーチへ！“
・須磨駅南口にエレベーターの設置に向けた意思決定
・ユニバーサルデザインビーチとしてPR,プロモーション活動（情報発信） 進行中
・須磨ビーチでブルーフラッグ認証を取得（2018年8月追記） 済
・全国10エリア（北海道、東北、北陸、関東甲信越、東海、近畿、中国、四国、九州、沖縄）でビーチマット導入。（2018年8月追記） 進行中

【2021年以降の須磨UBP】
・コロナ対策を講じてのユニバーサルビーチ　⇒出張ビーチマットで全国への普及を加速化
・オンライン企画の実施　⇒持続可能な企画開発を
・2021年以降のプロジェクト理念、戦略の策定　⇒次のステップに向けWhyの整理を